



平成22年11月11日

各位

上場会社名 日本ゼニスパイプ株式会社
代表者名 代表取締役社長 塩見昌紀
(コード番号 5274)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 玉野博司
(TEL 03-3865-2618)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、平成23年3月期第2四半期累計期間に下記のとおり特別損失が発生いたしますので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の第2四半期累計期間及び通期の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 連結

(単位:百万円)

内 容	金額
発生事実に関する費用	
新規設備投資による旧設備の除却の実施	15
「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについての減損処理による投資有価証券評価損	3
得意先の破産等に伴う貸倒引当金の計上	9
株式会社ハネックスとの経営統合に関連する費用	10
計	38

(2) 個別

(単位:百万円)

内 容	金額
発生事実に関する費用	
新規設備投資による旧設備の除却の実施	15
「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについての減損処理による投資有価証券評価損	3
得意先の破産等に伴う貸倒引当金の計上	10
株式会社ハネックスとの経営統合に関連する費用	10
計	39

2. 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	2,200	30	0	△ 20	△ 2.85
今回修正予想(B)	1,901	△ 133	△ 165	△ 208	△ 29.76
増減額(B-A)	△ 299	△ 163	△ 165	△ 188	
増減率	△ 13.6%	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,606	87	51	27	3.87

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	5,500	140	90	0	0.00
今回修正予想(B)	5,300	50	0	△ 200	△ 28.55
増減額(B-A)	△ 200	△ 90	△ 90	△ 200	
増減率	△ 3.6%	△ 64.3%	△ 100.0%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	4,753	138	91	43	6.15

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	1,900	30	0	△ 20	△ 2.85
今回修正予想(B)	1,733	△ 141	△ 152	△ 195	△ 27.90
増減額(B-A)	△ 167	△ 171	△ 152	△ 175	
増減率	△ 8.8%	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	2,391	91	83	52	7.52

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	4,800	140	90	0	0.00
今回修正予想(B)	4,600	△ 20	0	△ 200	△ 28.55
増減額(B-A)	△ 200	△ 160	△ 90	△ 200	
増減率	△ 4.2%	△ 114.3%	△ 100.0%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	4,241	105	115	62	8.96

当社は決算期変更により前連結会計年度が変則10カ月間(平成21年6月1日から平成22年3月31日まで)であり、前年同第2四半期累計期間(平成21年6月1日から平成21年11月30日まで)とは対象期間が異なっております。

修正の理由

1. 平成23年3月期第2四半期累計期間

(1) 連結業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、コンクリート等製品事業において需要の停滞により、出荷数量が当初想定に届かず、また、工事業においても想定した工事が下期にずれ込んだ結果、連結売上高全体では前回発表予想に対して2億99百万円下回る見込みとなりました。

一方、利益面につきましては、コンクリート製品の製造・出荷量が低水準となったため、収益性が悪化し、営業損失が1億33百万円（前回発表予想は営業利益30百万円）、経常損失が1億65百万円（前回発表予想は経常利益0百万円）、四半期純損失は特別損失で固定資産除却損15百万円及び株式会社ハネックスとの経営統合に関連する費用10百万円等合計38百万円を計上しました結果、2億8百万円（前回発表予想は四半期純損失20百万円）となりました。

(2) 個別業績予想数値の修正理由

連結業績と同様の理由により修正するものであります。

2. 平成23年3月期通期

(1) 連結業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、上期に比べ下期は季節的要因によりコンクリート等製品事業及び工事業とも大幅な増加が見込まれますが、公共事業の総枠減少により、上期の減少をカバーするまでには至らず、上記の通り業績予想を修正するものであります。

利益面につきましては、下期は製造・出荷量が増加し、製造経費および販管費低減努力により収益性は改善する見通しであるものの、上期の損失の影響をカバーすることは困難なため、また、株式会社ハネックスとの経営統合に関連する費用が1億50百万円程見込まれるため、上記の通り業績予想を修正するものであります。

(2) 個別業績予想数値の修正理由

連結業績と同様の理由により修正するものであります。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上